



# Lina LOHAS通信



~ 2008年のエコライフは、どうなるでしょう! ? ~

2007年は、かつてないくらい、世界的にも環境への意識が高まってきたと言われていました。「このままじゃ、自分たちの未来が危ない!」と誰もが気付いて、前向きにアクションを始めた結果なのだと思います。そして迎える新しい2008年は、どんどんよくなっていくのでしょうか…?

時代の流れに敏感な街・パリが今、“エコ・シトワイヤン=エコ市民”に目覚めて、パリ市の緑地環境課で、環境教育を目指す環境学校を設立して、子供から大人まで誰もが環境のいろはを学べる学校が、パリ市内には15ヶ所あり、いつでも体験できるようになっています。また、それとは別に、プロの庭師が一般市民とコラボレーションして、空地などに植林することも行っています。環境を考えることは、経済活動を活性化させて市民がハッピーになることだと、今パリジャンたちは、新しい生き方に気付き始めています。

ロンドンでは、植物自動車の部品が量産されています。国家と民間の両方から、知能集団を集めた研究機関“キネティック社”で技術研究され、自然・産業科学から武器まで、およそあらゆる分野の技術がここから生まれています。研究成果となるプレーキペダルの試作品は、確かに植物をグダグダに煮て固めたような、餡色の鈍く光った物質で、実はこの物質が耐久性に優れ、しかも耐火性・耐熱性にもすこぶる強いのだそうです。

自動車のパーツで、合成樹脂の部分は、すべてこのバイオマットに置き換えることができるといいます。実用化すれば、産業廃棄物とならない、再生可能な植物自動車が普及するということが、素晴らしいですね!

この研究の応用は、自動車に限らず、全ての合成樹脂を代替することができるはずですが、しかし、本当に世の中がこんなグリーンなマテリアルに取って代わることが可能でしょうか。問題は、代替するに足る植物の生産が追いつかないのでは…次の課題は、どの地域で、原料となる植物を増産していくかだと言っています。

イタリア・ベルリン・ニューヨークなどもそれぞれ特徴あるエコ活動を進める兆しが見えます。「エキスポ2015」に名乗りを上げているミラノ市は、“自転車と電気自動車が行き交う巨大なエコゾーン誕生”を売りにしているようです。

次回はまた、他の国のお話をしていきたいと思います。もちろん、日本でもグリーンロハスは確実に進んでいます。誰もがハッピーな社会を作るためには、まず地球環境を守ることから…と、世界中の人々は皆、同じように考え始めているようです。



リナ グリーン  
Lina Green  
TEL 054-205-0308

